

暖 暖 松 山

だんだんまつやま

vol.

12

TAKE FREE

やさしい風土に
根付いている
松山のおもてなし

お接待です。
どうぞお持ち
下さい。



なんだろうね。
このあったかさ

“お接待”の精神が根っこにある 素朴で自然な心づかい

日本全国、おもてなしの心はありますが、

松山のそれは、少しばかりバックボーンが異なります。

昔から四国路には、傷ついた人もそうでない人も
やってきて、遍路になって旅をしました。

人々は彼らに、食べ物や飲み物を提供するなど、
“お接待”と呼ばれる親切を行ってきたのです。

自分の代わりにお参りをしてほしい、

そんな気持ちもありました。

四国遍路はこの風習が支えてきたともいわれます。

今も続くお接待。

その精神を根っこに持つのが松山のおもてなし。

ほおをなでる風のように、野辺の小さな花のように、
身の丈にあったささやかな心づかいは、

松山人の呼吸にあっているのかもしれない。

今号は、松山のおもてなし文化をご紹介します。



vol.12 CONTENTS

02 愛媛マラソン、人気のヒミツは
街をあげてのおもてなしにあり！

04 松山の遍路道に広がる癒しのところ
坂本屋にみるお接待

06 松山で見えるお接待のいろいろ

07 ホスピタリティにあふれる小さな観光列車
人々の笑顔を運ぶ坊っちゃん列車

08 この街を味わう夜の過ごし方
選りすぐり松山イタリアン

10 ひんやり涼を運んでくる
とっておきスイーツ

12 子規・漱石生誕150年記念
子規・漱石を好きになる

14 松山市からのお知らせ
道後温泉別館 飛鳥乃湯泉オープン
婚活ツアー・移住体験ツアー等開催

16 松山に移り住んで③
口を開けば松山愛がほとばしる
波多野恵理さん

17 松山MAP アクセス



表紙写真：鎌大師（松山市北条地域）で。

風早の郷とも呼ばれる松山市北条地域は、年中、強い海風が吹きつける。北条の鎌大師は、四国霊場第53番札所圓明寺から第54番札所延命寺に行く遍路道沿いにある。ここにはお遍路さんが雨風をしのげるよう、防風窓のある休憩所が設けられており、地元の人たちがミカンや折り紙に入った爪楊枝を置いてお接待をしている。（松山市下難波1063）



田舎のおだやかさもあれば都会の便利さもある。
文化や歴史の楽しみもあれば、海や島の楽しみもある。
あったかい温泉もあれば、あったかい人間味もある。
松山は、何かひとつだけがスゴイのではなく、いろいろなよさが絶妙に程よく混ざり合う街です。
気の向くままにいる楽しみ、味わい、暮らせる街です。
そういう松山らしい、ちょうどいい豊かさ。この街に住む人、訪れる人に、もっともっと。

※本誌に掲載している情報は、「暖暖松山」編集部が独自に選定しています。



(写真提供/愛媛新聞社)

愛媛マラソン、人気のヒミツは 街をあげてのおもてなしにあり!

いまや日本は空前の「マラソンブーム」。
昭和38年(1963)に始まり、平成29年2月の大会で
55回目を迎えた愛媛マラソンは、
毎年多くのランナーがエントリーする人気の大会だ。
ランナーの支持を集める大会の魅力に迫る。

また走りたくなる心のこもった大会

立春を過ぎたとはいえ、まだ寒さの
残る平成29年2月12日、大勢のランナ
ーたちが緊張した面持ちで、愛媛マラ
ソンのメイン会場・城山(堀之内)公
園に集まってきた。そしてスタートの
号砲で、一斉に愛媛県庁前から伊予路
へと飛び出していった。

ランナーが利用する日本最大級のポ
ータルサイト「RUNNET」では、「全国ラ
ンニング大会100撰」が公表されて
いる。これはランナーが「大会の運営」
「地元への浸透度」「沿道の応援」「ま
た参加したいか」など、あらゆる観点
から点数をつける、人気のものさしと
なるものだ。

そのサイトで、愛媛マラソンは毎
年高い評価を得ており、平成28年度
はフルマラソンの全大会中で2位、
7000人以上が参加する規模のフル
マラソン大会では堂々の1位に輝いた。
サイトには「沿道の声援が途切れな
い」「また走りたい」といった参加者の
声掲載されている。また「エイド※
が充実している」「運営が素晴らしい」

との声も。約3200人ものポランテ
イアスタッフの存在も、大会運営には
欠かせない。

評判は口コミで広がり、出場希望者
は年々増加している。アスリート枠
3000人と一般枠7000人の定員
に対し、平成29年2月の大会は一般枠
で、過去最高2・8倍の応募があった。
抽選で選ばれたランナーたちを、松
山市民は精一杯の声援で出迎えるのだ。
※エイド(エイドステーション)：コースの途
中に設けられる水分や食料の補給場所

人気の指標 大会ランキング(フルマラソン)

※ RUNNET 平成28年度大会ランキング一覧より

●大会規模7000人以上

1/愛媛マラソン

- 2/いわきサンシャインマラソン(福島県)
- 3/さが桜マラソン(佐賀県)
- 4/世界遺産姫路城マラソン(兵庫県)
- 5/長野マラソン(長野県)

●全大会

- 1/徳島・海陽究極の清流 海部川風流マラソン(徳島県)
- 2/愛媛マラソン
- 3/いわきサンシャインマラソン(福島県)
- 4/さが桜マラソン(佐賀県)
- 5/香住ジオパークフルマラソン(兵庫県)

愛媛マラソンのココがすごい！

沿道のおもてなし

1 坊っちゃん列車のお見送り

スタート地点の県庁前に坊っちゃん列車が待機。スタートの号砲と同時に汽笛を鳴らし、最後のランナーがスタートラインを通り過ぎるまで、汽笛を鳴らし続ける。



2 声援の途切れるところがない

沿道のいたるところから大きな声援が送られるので、選手は元気をもらえるという。ゴールの瞬間まで、応援にかけつけた人の拍手と声援に包まれる。



ランナーの声
ゴール地点にいる応援の友人と、完走した喜びをその場で分かち合いました。

3 エイドの充実

公式エイドは13カ所。水、ポンジュース、バナナ、梅干し、坊っちゃん団子やタルトなどがある。ほかに、近隣住民が自発的に設置する私設エイドもある。内容はさまざまで、皮をむいて房ごとにわけたミカンや、汗ふきや鼻かみ用にティッシュペーパーの箱を差し出す。毎年沿道で応援しているからこそ気づく細やかな心遣いだ。



ランナーの声
足が動かなくなったとき、私設エイドの方に「鎮痛消炎スプレーありますか？」と声をかけられビックリとてうれしかったです。

4 Qちゃんとはイタチでフィニッシュ

ここ数年、ゲストランナーとしてシドニー五輪金メダリストの高橋尚子さんが参加し、フィニッシュしたランナーをイタチで出迎えては引き返し、ランナーを励ましながら何度も併走してくれる。



メイン会場でのおもてなし

1 お接待所で温かい食べ物をサービス

地元ボランティアによる郷土料理の「いもたき」がふるまわれる。協賛企業による、おにぎりやパン、スープなどの無料配布も。



2 道後温泉の源泉を使用した足湯

フィニッシュしてすぐの手荷物預かり所前に設置。道後温泉の湯は、42.195kmを走り、疲れのピークに達した足の回復を促す。



3 愛媛ならではの参加賞と完走賞

参加賞の1つにレース日の前後1週間程度有効の道後温泉無料入浴券、完走賞にはメダルではなく、高品質ブランドの今治タオルのバスタオルがもらえる。

松山城をバックに記念撮影ができる



Memo
次回予定/平成30年2月4日(日)
問合せ/愛媛マラソン実行委員会事務局
TEL 089-915-8460

松山の遍路道に広がる癒しのこころ

坂本屋にみるお接待

四国遍路の静かなブームが続いている。
四国をぐるり一周して1200km以上、
通して歩くと40日以上かかる巡礼の旅を
後押ししてくれるのは
美しい自然と「お接待」。
お遍路さんをねぎらい、
必要なものを無償で提供する風習が、
今も松山の遍路道には受け継がれている。
評判のお接待所、坂本屋を訪ねてみた。

坂本屋の建物は1階の部屋の前に1間幅の土間が設けられていて、道がそのまま家の内につながる特殊な構造になっている

坂本屋

松山市窪野町桜 2187
開所：3月～11月の土・日曜、
9～15時
問合せ：坂本公民館
TEL 089-963-0994
(平日 8:30～17:00)

「座って行かれませんか」と、今日のスタッフさん。
風格ある囲炉裏のそばは、ほっこり温か



2階の窓を開けると、一面の竹林

お接待をしている日の目印



三坂峠から坂本屋へ
と下りてくる遍路道

Column

お接待のころ

お遍路さんをお無償でサポートすることを「お接待」という。

品物を差し出す場合には、お菓子、餅、みかん、パン、お茶、ジュースが多い。道案内もするし、かつては宿を貸すこともあった。このような風習は、今は四国遍路以外でなかなか見ることはいえない。

信仰の世界では、空海(弘法大師)は今も生きて山野を行脚しており、四国の人々は、もしかしら目のお遍路さんとお大師さんの化身かもしれないとお接待をしてきた。

藤沢真理子著『風の祈り』によると、「施す人が、お遍路さんと弘法大師とを一致させることによって、施しを受ける人を蔑んだり哀れんだりしないどころか、尊敬や崇拝の念を抱き、物品を捧げることが喜びになる」点の特徴であるという。

6班に分かれて、道が雪に閉ざさ
現在、運営メンバーは約30人
接待所に生まれ変わった。
有志らが修復し、平成16年からお
接待所

坂本屋は、1200年ものあい
だ受け継がれてきた素朴な遍路文
化に、今も出合えるところである。

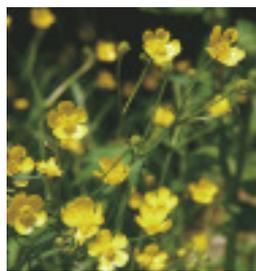
坂本屋も長く廃屋だったが、こ
の建物に普通の民家とは違う遍路
宿独特の構造が見いだされた。そ
れをきっかけに、遍路文化を伝
える地域遺産として保存しようと、
有志らが修復し、平成16年からお
接待所

外国からのお遍路さんが増えた
ので、今年は講師を招いて、50
70代の地元住民が「どちらの国か
らお見えますか」「お茶でもい
かがですか」などと実践英会話の練
習もしている。

かつては遍路宿を営んでいた木
造二階建ての民家で、明治の末期
頃に建てられている。
坂本地区は、四国霊場第45番札
所の岩屋寺から46番浄瑠璃寺へ向
かう道中に開けた米どころだ。高
知から瀬戸内海に抜ける旧街道沿
いでもあることから、数軒の遍路
宿が軒を連ねていたが、歩き遍路
が減った戦後まもなくの頃、次々
と消えていった。

冬期以外の週末、交替でお遍
路さんを迎えている。
1日7〜8人、春や秋の多いと
きには約30人のお遍路さんに腰を
下ろしてもらい、お茶とお菓子を
勧める。ときには「自分たちの屋
食を作り過ぎたので」と、おにぎ
りやカレーなどを食べてもらうこ
ともある。

遍路文化に出合える



1 / かつてお接待は、旧
暦3月4日の雛あらしに
行われることが多かったこと
から、文久2年(1862)
作のお雛様を年に2日間
だけ展示する
2 / ときには、お接待に軽
食が。山菜ごはんのおにぎ
りとぬた(左)、本格カレー
(右)。イベントのときには、
坂本屋の名前が入った大
判焼きが焼かれることも

左/てくてく舞いの和気公民館の厨房。松山名物、鍋焼きうどんは定番メニュー。食材は地元の人
の持ち寄りが多く、お遍路さん以外の人に有料でふるまうことで不足分の購入費用を補っている
右/オーストラリアからのお遍路さん。至れり尽くせりのお接待に感激して甘酒で乾杯



上/ばあばの周囲は、いつも笑顔が絶えない 下/ばあばのお接待は、炊き込みご飯にお寿司にとバラエティに富む。今日のおにぎりは、ブドウの豆ご飯と、タケノコとワラビの炊き込みご飯



大所帯で
地域 和気あいあい、
で迎える 和気公民館

和気公民館では「おせたいくらぶ」が、毎月1日と2日に各日100人分の食事を作り、お遍路さんをもてなしている。平成20年の結成以来、迎えたお遍路さんは2000人超。地域をあげてお接待するのは、和気地区に第52番札所太山寺と53番圓明寺があり、その間わずか2.3km、沿道の中ほどに公民館があるからだ。たまたま寄り合ったお遍路さんと地元の人たちが、食卓を囲み、くつろいで語り合っていた。

Column

今も松山には、お接待の風習がさまざまに形に残っている。沿道に住む人の心のなかに、自分たちがお大師さんに守られている、また、お遍路さんを見守りたい、そんな気持ちが深く根付いているからだ。

松山で見える
お接待のいろいろ

サイクル遍路も増えている



美容室脇の
アットホームな休憩所
街角の休憩所で迎える

道後温泉はお遍路さんが楽しみに立ち寄る保養スポット。道後のヤング美容室は、店舗脇にお遍路さん専用の休憩スポットを設けている。持ち歩けるようにと、ペットボトル入りのミネラルウォーターやお菓子などのお接待も。



現代版の茶堂（お接待によく使われた小堂）とも言える一角。目印にすげ笠を吊している

右/木地屋は東洋蘭の鉢植えと水墨画などが展示されて、ギャラリーのよう。月に一度、お茶席がある。左端が木地さん 下/庭に弘法大師にまつわる逸話が残る「ねじれ竹」がある布袋茶屋。右が布袋さん



個人 「浄瑠璃寺のばあば」は
で迎える 人気者

四国霊場第46番札所浄瑠璃寺には、納経所の脇に縁台を出し、もう10年、毎月1回程度、お遍路さんに米2升分ものおにぎりをお接待している女性がいる。料理上手の話上手、「浄瑠璃寺のばあば」こと澤田悦子さんだ。お接待の日の朝、澤田さんは「今日も無事、よいお接待ができますように」と祈った後、支度を始める。温かくて気さくな人柄が、心地よい時間を作っている。

茶屋 今も昔も
で迎える 太山寺の参道で

第52番札所の太山寺二ノ門の内側には昭和20年代前半まで4軒の遍路宿があった。1階で茶店も営んだため「お茶屋」と呼ばれ、名物のあんころもちや蒟蒻などの土産物も商った。戦前は毎年春に近隣の村や、遠くは大分からやってきたお接待グループ（講）が滞在し、遍路宿の軒先を借りて接待したという。今は、かつて遍路宿だった木地屋（日曜開所。臨時休業あり）と布袋茶屋（不定期開所）の2軒が、お遍路さんの休憩所として参道に彩りを添えている。



- 1 / 明治時代を再現するため、「改札鉄（きょうてつ）」で切符を切る
- 2 / 力いっぱい案内する乗務員さん
- 3 / 車外でも観光案内のサービス



1



2



3



車中はいつも和やかな雰囲気。電車が大好きな2歳の男の子は、憧れの制帽を借りてもらって大満足

ホスピタリティにあふれる小さな観光列車 人々の笑顔を運ぶ 坊っちゃん列車

耳が汽笛をとらえると、聞き慣れたはずの松山人もついでその姿を探してしまう坊っちゃん列車。ホスピタリティにあふれた列車は、乗ってこそわかる楽しさがいっぱいある。

初夏のある日、松山市駅から坊っちゃん列車に乗車した。

レトロな木装の車内に、エアコンは見当たらない。硬い座席の横一列は大人5人が乗ればいっぱいだ。ガタゴトと大きく揺れるたび、見知らぬ乗客同士が微笑み合う。小造りの入口から、弾ける笑顔の乗務員さんが身をかがめて、「坊っちゃん列車へのご乗車、まことにありがとうございます！」。その手を松山城にぐっと伸ばしながら、親しみある口調で観光案内が始まった。手の先に視線を向ける観光客をよそに、乗務員さんを見つめる男の子の姿が。その男の子に乗務員さんが自分の制帽をかぶせてあげると、車内中に笑みがこぼれた。

明治時代へのタイムスリップを味わえる観光列車。観光案内をしたり、記念撮影をしてあげたりと、乗務の合間にみせる心づくしの接客も、坊っちゃん列車の大きな魅力である。



坊っちゃん列車の乗務員さん

私自身、この車両に乗車するだけでワクワクします。だから自然と笑顔になるし、皆さんに手を振りたくるんですよ。

Column 【坊っちゃん列車】



1888（明治21）年から運行を始めた日本初の軽便鉄道。1954（昭和29）年で姿を消したが、復活を望む多くの声を受け、2001年から当時の姿で再び街を行き来している。以前は蒸気機関車だが、現在はディーゼルエンジンを採用。

- ・乗車区間／道後温泉駅～松山市駅／1日6往復（土日祝日は7往復）
道後温泉駅～JR松山駅前～古町駅／1日2往復（土日祝日は3往復）
- ・料金／大人800円、小児400円
- ・問合せ／伊予鉄道株式会社 TEL 089-948-3323



街行く人が手を振ると、乗務員さんたちは笑顔で手を振り返してくれる



夜のコース5000円の一部。手前が前菜2種、奥が手打ちパスタ。朝仕入れた魚介をベースにコースを組み立てる。マナガツオ×ピスタチオ×芽ひじき（手前）、クレソン×ソラマメ×カラスミ（写真奥）など、豊かな発想力に裏打ちされた、食材の組み合わせの妙！



1 / 料理への姿勢はとことんシビア。「本場を知らないからこそ強みもある。イタリア料理の枠を超えたい」と宮川シェフ
2 / 店内にある上品な小物が2人のセンスを物語る

この街を味わう
夜の過ごし方

選りすぐり 松山イタリアン

おいしい料理においしいワイン。
それだけではない魅力が松山イタリアンにはある。
松山で過ごすディナーの新提案。

食材との 丹念な対話の先に

L'API (ラビ)

“地の食材を生かす”というイタリアンスピリットと、山海の幸あふれる松山との相性の良さを、存分に味わえる「ラビ」。宮川圭輔シェフが生み出す血は、ハッとするほど素材の味が際立ち、盛り付けも、色、形など素材そのものの美しさで魅せる。大阪で開業し2014年、故郷でふたたび看板を掲げた。「生産者にぐっと近くなった」と語るように、松山ではその日の食材で料理を決めるスタイル。旬とシェフの腕のコラボを堪能するなら夜のコースがおすすめ。夏なら、島獲れの殻付きウニやマナガツオといった高級魚介が前菜で登場し、最後のドルチェまで真心が行き渡る。満足という言葉以上のもので満たしてくれる名店だ。

▶松山市大街道3-6-4 2F | TEL 089-913-8880
11:30~13:00(L.O.)、18:00~20:00(L.O.) | 日曜休
ランチ1500円～、ディナー5000円～/要予約
※月曜はディナーのみ。



OMOTENASHI

居心地の良さのもと
穏やかな笑顔がチャーミングな宮川夫妻。居心地の良い、何気ない会話、さりげないサービスが心憎い。



ナポリ料理がメニューの中心。手前は豚バラとフィレ肉を香草でマリネして丸めオーブン焼きにした「ポルケッタ」(1000円)

いつも以上に語りたくなる場所

駅裏の小さなイタリアン トマリギ (TOMALIGHI)

松山市駅裏に2017年春、イタリアンの新星が現れた。全12席という店のサイズも手伝って、すでに予約が取りにくい人気店だ。店名の「トマリギ」さながら、気軽に立ち寄れる雰囲気は、私鉄がすぐそばを通るロケーションと、ひっそりと佇む店構えのせいだろうか。28歳の若きオーナーシェフ西原幸佑さんはイタリアの厨房で通算2年間働いた。「イタリア修業は本当に楽しかった」と語る西原さん。陽気な厨房が思い浮かぶような絶品アラカルトにワインが加わり、会話が弾む。お隣さんも一緒にいかが。そんな居心地に人は惚れ、また足を運ぶのだろう。

▶松山市末広町16-13 | TEL 089-909-5288
11:30~14:30、17:00~22:30 | 水曜、第1火曜休
ランチ1000円、ディナーはアラカルト350円~



OMOTENASHI

- 1 / 自然派ワインはラベルが個性的。「作り手の思いを伝えていきたい」と千紘さん
- 2 / 愛媛のブランド豚「甘とろ豚のロートロ」
- 3 / 手打ちパスタを使った「愛媛県産アコウと緑豆のタリオリーニ」。レモンの新芽と豆のグリーンが美しい



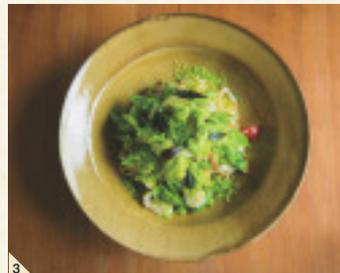
ソムリエバッジに込められた思い
背中が見えなくなるまで客を見送る
千紘さんの姿から、心底満足させて
こそソムリエだという自負が伝わる

- 1 / 本場で鍛えた腕が冴えるのは特に、ブロード（だし）が効いたオイル系パスタ
- 2 / 店のすぐそばを伊予鉄道郊外線が走り、ノスタルジーにあふれている
- 3 / ディナータイムでは、その日の食材で希望のパスタを作ってくれる



OMOTENASHI

フラットとワインを一杯
夕刻、一人で気軽に立ち寄り、ワインを傾ける。それが自然にできるのがこの店の魅力。案外、そんな時間を過ごせる場所は少ない。



スペシャリスト同士の共演

PASTOSITÀ (パストジータ)

旨みの相乗効果をもたらす料理とワイン。その神髄を味わえるのが「パストジータ」だ。素材の味を引き出す山田俊彦シェフの料理に、ソムリエの妻・千紘さんが、選び抜いた自然派ワインを添える。大阪のイタリア料理店で鍛えた山田シェフにとって、自然が広がる愛媛は、日々が食材探しの旅になる。プライベートで訪れた場所で、レモンの新芽に出合えばその場でかじる。この日は、パウダー状の緑豆をふりかけたパスタに、その新芽をあしらひ、美しい緑の血を披露した。「愛媛の信頼できる生産者と、食べる人をつなぐ触媒でありたい」と語るシェフ。野趣と繊細さを兼ね備えた料理から、素材へのリスペクトが伝わってきた。

▶松山市三番町4-2-1 M2ビル2F | TEL 089-993-5275
11:30~14:00、18:00~23:00(L.O.21:00) | 不定休
ランチ1500円~、ディナー5000円~(税、チャージ料別) / ともに要予約



カウンターから丸見えの
厨房に立つ山田夫妻

ひんやり涼を運んでくる とっておきスイーツ

暑さから逃げて、街なかでちょっと涼を。
そんなときにぜひ出合ってほしい、
松山のとっておきの冷たいスイーツをご紹介します。



右 / 「夏季限定だけれど一年中仕込みをしています。今年は新メニューの甘酒が登場しますよ」と菅さん。中 / 店内は落ち着いた和のテイスト



松山の「かき氷」の代表格

「あんから庵」は仲のいい女友達の菅千代子さんと大森トキ子さんが切り盛りする。名物は、4月半ばから10月末まで味わえるかき氷だ。イヨカンやイチジクといった愛媛の旬のフルーツから、栗ほうじやチョコレートココアなどの変わり種まで、20種類のシロップはすべて自家製。と、そこまでなら有り得る話。メニューごとに味が変わるアイスクリームに加え、白玉、餡と、トッピングまで手作りときた。「なぜそこまで」の間に、お二人とも「性分」と気負いが無い。一口含めば、松山人に愛される理由が分かるだろう。

▶ 松山市二番町2-5-11 菅ビル2F | TEL 089-935-8858
11:00~20:00(L.O.19:30) | 第1・第3木曜、金曜休



季節の
フルーツの
パフェ 780円
CAFÉ BC

魅惑のビジュアルと旨みのレイヤー

半世紀近く、営業を続ける老舗喫茶店「CAFÉ BC」の、「季節のフルーツのパフェ」は、ひとさじ進めるごとにワクワクし、誰をもトリコにしてしまう。バラが咲いたような見た目はもちろん、自家製フルーツソースやクリームも味わい深く、まさに完璧なスイーツだ。主役は松山を中心に顔見知りの農家から届く旬の果物たち。店主・井原大介さんの「お客さんを喜ばせたい」思いが器から溢れ出ている。

▶松山市大街道2-2-20 | TEL 089-945-9295
9:00~22:00(木曜、日曜~19:00) | 不定休

街のオアシスで出来立てを

サクサクのクレープ生地に、なめらかな自家製クリーム。Crepe cafe Coco (クレープカフェココ) は、子どもが大好きなクレープを大人のスイーツに昇格させた。常に焼きたてを提供するため、一帯には芳ばしい香りが漂う。昼は家族連れや友だち同士でにぎわい、夜は仕事帰りの人たちがふらりと立ち寄る。「クレープは出来立てが命。さっと食べたらのんびりしてくださいね」と、大西里奈店長。

▶松山市湊町3-7-11 | TEL 089-932-8579
11:30~21:00(土日祝日は11:00~) | 不定休



夏限定のフローズンヨーグルトアイスクレープもオススメ

ジェラート
みかんジェラート
(シングル) 280円
10FACTORY
松山本店



夏でもフレッシュな柑橘を味わう

柑橘王国・愛媛で、美味しさに定評がある南予地方の柑橘。その南予産のものを果汁にし、ミルクジェラートとミックスして常時5種類を提供している。「はるか」、「きよみ」など「観光客の方は、初めて聞く名前にびっくりされます」と10FACTORYの向田卓也さん。東京・銀座の商業施設「GINZA SIX」でも人気だとか。ぜひダブル(420円)で異なる種類を食べて、ミカンの奥深さを味わってほしい。

▶松山市大街道3-2-25 | TEL 089-968-2031
10:00~19:00 | 木曜休



上/柑橘ジュースがズラリと並ぶスタイリッシュな店内
左/持ち手が付いたアイスバー (320円) は外国の方に人気

ラズベリー&
生クリーム+アイス
510円
Crepe cafe Coco
湊町店





3階には愚陀佛庵を再現。子規が漱石の下宿先「愚陀佛庵」で同居した52日間は、日本文学史上、貴重な出来事でもあった

子規・漱石生誕150年記念

子規・漱石を好きになる

正岡子規と夏目漱石生誕150年の今年、各地で記念のイベントや企画展が行われている。子規と漱石を知るよいチャンス。今年春リニューアルした子規記念博物館は、その絶好の場所である。



〜稀なる出会いと友情〜

若き日の出会いと友情の52日間

正岡子規と夏目漱石は同い年。ちょうど、元号が明治になる前年、1867年に生まれた。

二人は、東京大学予備門で出会い、ともに大好きな寄席の話でたちまち意気投合したという。当時は、早熟な子規の方が兄貴分的存在だったらしい。

親交が深まってくると文学の才能を互いに認め合うようになる。子規が作品集『七草集』を書くと、漱石は房総旅行の記録を漢文で記した『木屑録』を書き、互いに批評し合った。子規は、漱石が英語に秀でていたばかりでなく、漢詩文に抜群の才があることに驚き、「吾兄の如きは千万年に一人のみ」と記し、漱石が、千万年に一人の逸材だと感嘆したのである。

子規は、明治22年、咯血し、肺結核と診断された。子規を見舞った漱石は子規宛ての手紙に「帰ろふと泣かずには笑へ時鳥（故郷に帰ろうなんて弱気を言っちゃあだめだぞ。さあ笑って）」という俳句を添えて励ました。

漱石は、明治28年、愛媛県尋常中学校の英語教師として赴任し、上野義方邸の離れ（愚陀佛庵）に下宿した。一方、子規は日清戦争の従軍記者として大陸に渡ったが、帰路に咯血。須磨で療養後、漱石の下宿に転がり込んだ。この同居、実は「身一つで来ないか」という漱石の誘いがあったからだ。母と妹が上京している子規を、ふるさとで静養させようとしたのかもしれない。

愚陀佛庵では子規の俳句仲間が集まり、連日のように句会が開かれた。あまりににぎやかで読書もできないから、やむをえず加わったと、後年漱石は、彼独特の言い回しで語っている。

真面目な漱石は豪快で親分肌の子規に振り回されたが、滋養にとウナギを食べさせたり、部屋の火鉢の下にそととこづかいを置いたりするなど、大切な友人として気遣う存在だった。

52日間の同居の後、子規は、『俳諧大要』の連載を新聞「日本」で開始する。これは子規が自分の研究成果にもとづいてまとめた俳句の指導書で、子規の俳句論の集大成だった。

漱石はといえば、俳句には熱中するものの、自己表現が成熟し、小説という手段を得るのは、熊本赴任やロンドン留学の後まで待たねばならない。

知っておくと
もっと楽しめる子規博



自分の俳句を短冊に

俳句をパソコンに入力して短冊にできる
体験コーナーあり



3～12分のビデオ映像

各コーナーに3～12分程度の解説映像がある。
座って観られる映像ガイドコーナーもあり



持ち帰れるガイドシート

各コーナーに持ち帰りOKのわかりやすい
リーフレットが用意されている。合計16枚



20分の短編映画

子規の生涯をまとめた映画を土・日曜・祝祭
日に1階視聴覚室で上映



40分ほどの案内ガイド

インストラクターが個別に展示解説をして
くれる。要事前予約、無料

月替わりで
子規の俳句を掲示



松山市立子規記念博物館

松山市道後公園1-30
TEL 089-931-5566
休/火曜、祝日の翌日
開館時間/ 5/1～10/31 9:00～18:00、
11/1～4/30 9:00～17:00
料金/400円(高校生以下無料)
※5ヵ国語対応の音声ガイド(100円)あり



映像パネルをタッチすると、子規庵や
「絶筆三句」が浮かび上がってくる。
絶筆三句の文字は子規の直筆



明治 28 年の
正岡子規



明治 29 年の
夏目漱石

最後はほろりと涙する
松山市立子規記念博物館

子規記念博物館は、子規の生涯を追いながら豊富な資料を展示する文学系博物館。一見、難しく感じるかもしれないが、気軽に入って、見てほしい。

子規は明朗闊達な人物だ。ユーモアあふれる手紙や人物評の書き物には、くすつと笑わせられる。また、交友のあった人たちの豪華なこと！名だたる明治の文人たちが、子規のもとに引き寄せられているのに驚かされる。

所要場所の解説映像や、やさしい言葉で書かれたガイドシートも理解の一助。見応えある展示と丁寧な解説に導かれて、子規の短くも充実した人生をなぞると想像以上におもしろく、最後はほろりと涙する。

余韻の残る博物館である。



子規の人生 4 シーンを表現した人形を展示。左は子規の「絶筆三句」のシーン。亡くなる前、門人の河東碧梧桐(奥右)、妹・律(奥左)、母・八重(手前右)、陸羯南夫人(手前左)らに見守られながら辞世の句をしたためる様子 ※人形は松山在住の創作人形作家・森川真紀子さんの作品



「酉ノ市ノ於多福」
「玩具帖」より
子規の達者な絵も見どころ。子規は赤が好きだったので、絵にもよく赤色が使われている
(この絵と子規・漱石の写真は松山市立子規記念博物館蔵)

子規に捧げた
『吾輩は猫である』

子規は、病と格闘しながら、俳句、短歌、文章の革新を推し進めた。病床の子規をことのほか喜ばせたのは、ロンドンの生活の様子を書いた漱石の手紙「倫敦消息」だった。

明治 34 年、漱石に宛てた子規の手紙には、「僕ハモードメニナツテシマッタ、毎日訳モナク号泣シテ居ルヤウナ次第ダ。(略) イツカヨコシテクレタ君ノ手紙ハ非常ニ面白カッタ。近來僕ヲ喜バセタ者ノ随一ダ(略) 僕ノ目ノ明イテル内ニ今一便ヨコシテクレヌカ」と、赤裸々な胸の内を吐露している。

翌明治 35 年、子規は 34 歳で生涯を閉じた。子規の「次の便りが欲しい」という求めに答えられなかった漱石は、どんなに悔やんだことだろう。

子規の死から 3 年後、俳誌「ホトトギス」に発表した『吾輩は猫である』は、大人気を博し、漱石を一躍有名にした。単行本

『吾輩ハ猫デアル』中編の「序」には次のように書かれている。

「憐れなる子規は余が通信を待ち暮らしつゝ、待ち暮らした甲斐もなく呼吸を引き取ったのである。(略) 有名になった事が、左程の自慢にはならぬが、墨汁一滴のうちで暗に余を激励した故人に対しては、此作を地下に寄するものが或は恰好かもしれぬ。(略) 『吾輩は猫である』は子規に捧げた作品であり、鎮魂と友情の証、後悔の念を晴らすものであったのだ。

漱石は、子規が亡くなった 9 年後、熊本やロンドンに届いた子規の手紙と絵から 3 つを選び、一幅の軸物に作り上げていく。心に抱えてきた子規への、切々たる思いを見るようだ。

子規と漱石の出会いがもたらしたものは、「生」そのものの共鳴であろう。肝胆相照らす関係は、二人のつながりの深さ、温かさ、切なさを教えてくれる。子規は漱石の産婆役だったとも言われるが、子規の故郷・松山は、二人にとって特別な場所だった。

平成29年9月26日、道後に誕生。

道後温泉別館 ～あすかのゆ～

飛鳥乃湯泉

法隆寺発主玄妙堂

次号の「暖暖松山」は飛鳥乃湯泉特集です!



[愛媛の伝統工芸×最先端のアート]



エントランス
(セオライト和紙の山門シェード)
(和釘で描く巨大な湯玉)



大浴場
(砥部焼の陶板壁画)



大広間休憩室
(ギルディング和紙のシェードと照明)

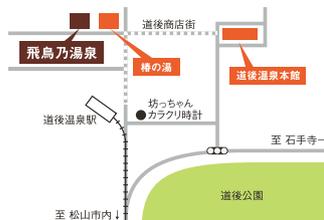


道後温泉にまつわる伝統を表現した
個室休憩室 (筒描染)

道後温泉別館 飛鳥乃湯泉とは…

平成29年9月に誕生する道後温泉の新たな温泉施設です。道後温泉本館と同じ、全国でも珍しい、加温も加水もしていない源泉かけ流しの「美人の湯」。日本最古といわれる温泉にふさわしい、西暦596年聖徳太子の来浴や661年斉明天皇の行幸などの物語や伝説が残る、飛鳥時代の建築様式を取り入れた湯屋です。

道後温泉別館
飛鳥乃湯泉
公式HPはこちらから



information

松山市からの
お知らせ

松山観光と婚活が一度にできる
魅力いっぱいのツアー

まつやま婚ツアー 2017

昨年大好評だったため、今年も開催決定。「まつやま婚ツアー2016」では全国各地の女性に参加していただき、参加者120名のうち、22組44名ものカップルが誕生しました。「松山が故郷」という方だけでなく、初めて松山を訪れる方も大歓迎。松山の住みやすさを体感しながら、素敵なお相手と出会しましょう♪

参加費はどのツアーも5,000円
松山までの旅費・宿泊費については、
えひめ結婚支援センターが
2万円まで負担します！

※主催指定旅行会社ユニークツアーにて、交通・宿泊手配をした場合に限りです。

※どのツアーも応募多数の場合は、応募〆切り前に募集を終了する場合があります。お申し込みはお早めに。



松山への移住を考えるあなたへ

雑誌『TURNS』×松山市 共同企画 開催

👉 TURNS ツアーまつやま

開催期間 2017.12.2(土)～3(日)

応募〆切 11.10(金) 募集人数 18名

参加条件 松山暮らしに興味のある方

参加費 1万円

羽田空港発着で、松山暮らしを身近に感じていただけるような行程を検討しています♪先輩移住者との交流会もあり、リアルな声を聴く場もあります☆

👉 まつやま圏域 移住&お仕事相談会

開催期間 2017.9.30(土)

場所 移住・交流情報ガーデン

(JR:東京駅八重洲中央口より徒歩4分)

地下鉄:東京メトロ銀座線京橋駅より徒歩5分)

松山市と周辺の自治体(伊予市・久万高原町・東温市・砥部町・松前町)が共同開催する移住フェア。お仕事に関する相談も同時に行えます。



TURNSとは?

日本の“地域”をテーマに、日本各地の魅力を再発見し、そこで暮らす人々や、移住のための情報を提供するローカルライフマガジン。(株)第一プロダクション発行。



島の観光宣伝大使
「しまぼう」

👉 都会の喧騒を離れ島に癒されたいあなたは… 愛ランド里島(りとう)CONツアー

開催期間 2017.10.14(土)～15(日) 応募〆切 9.11(月)17:00

募集人数 40名(男性20名・女性20名)

参加条件

[男性]松山市島しょ部在住・出身の独身男性
[女性]独身女性

瀬戸内に浮かぶみかんの島・中島で、海を目の前にバーベキュー♪他にも、松山市の観光スポット、松山城などの散策も♪



👉 歴史ある松山城やレトロな港町でオシャレ婚活♪ 坊っちゃんCONツアー

開催期間 2017.11.25(土)～26(日) 応募〆切 9.29(金)17:00

募集人数 40名(男性20名・女性20名)

参加条件

[男性]松山市在住または在勤の独身男性
[女性]松山市外在住の独身女性

お城下デートやレトロな街をゆったりめぐりながら、ステキな出会いを見つけてください。地元のおいしいグルメも楽しめますよ!



👉 ترامラリーや焼物の絵付など体験メニューでアクティブ婚活♪ まどんなCONツアー

開催期間 2018.1.27(土)～28(日) 応募〆切 11.30(木)17:00

募集人数 40名(男性20名・女性20名)

参加条件

[男性]松山市在住または在勤の独身男性
[女性]松山市外在住の独身女性

アクティブに松山観光を楽しむながら婚活もできるツアーです。いろいろな体験を通して、自然と男女が仲良くなれる2日間です。



気になるツアーの詳細・お申し込みは/
WEBサイトをご覧ください。

<https://matsuyama-kurashi.com/>

いい、暮らし。まつやま

検索



松山ってどんなところ?/
というアナタへ

松山市魅力発信映像公開中!

<https://www.dandanmatsuyama.com/finding/>



波多野恵理さん(39歳) 中国地方⇩松山市

” 口を開けば松山愛がほとばしる。

夫の転勤で松山に来た波多野恵理さんは、この街で3年間過ごした。平成27年、再び転勤により、県外に引っ越すが、松山が忘れられなくて、今春、親子で“Uターン”。“これほど癒される街はないですよ”と、口を開けば松山愛がほとばしる。



プロフィール
宮崎県出身で元新聞記者。同業の夫と結婚した後、記者を辞めて育児に専念。今はフリーライターとして地元・全国の様々な媒体で執筆中。



お気に入りの豆腐屋さんで。「松山は物価が安いですね。衣食住すべて安いのがうれしい」

おもてなしの
遭遇率が高いまち

波多野恵理さんは現在まで、大都市、県庁所在地、地方都市など12の街で暮らした。住んだ街を離れる時、淋しくて切なくて泣いたのは松山だけで、「いつか戻って来よう」と心に決めていたという。

「空気がゆるくてホッとします。それにこの街には応援したい人がたくさんいるんですよ。飲食店でも雑貨店でも、こち

んまりとして、センスにあふれ派手じゃなくて、丁寧に営んでいる。店主さんの目の行き届いた、心地良いお店が多いと感じます」

松山に戻ってきた翌日から、自転車で、かつて馴染みだったお店に、挨拶回りに行ったという。その途中、何人もの知り合いに出会ったとか。いかに街に根付いた暮らしをしていたかが分かる話だ。

「松山は、裏道を走る喜びがあるんです。自転車で、路地や裏道を走っていると、こんなところにこんな素敵なお店があると、うれしい発見をします」
街がコンパクトだから、お店もほどよく集まっている感じがするのだと話す。

実は、この街に戻ってこようと決心させたのは、「松山の小学校で卒業したい」という息

子さんの言葉だったそう。松山を気に入っていた夫も、子どもの気持ちを尊重し賛成してくれた。結果的に夫が単身赴任の形になり、多忙な合間を縫って、家族に会いにくる生活になっている。

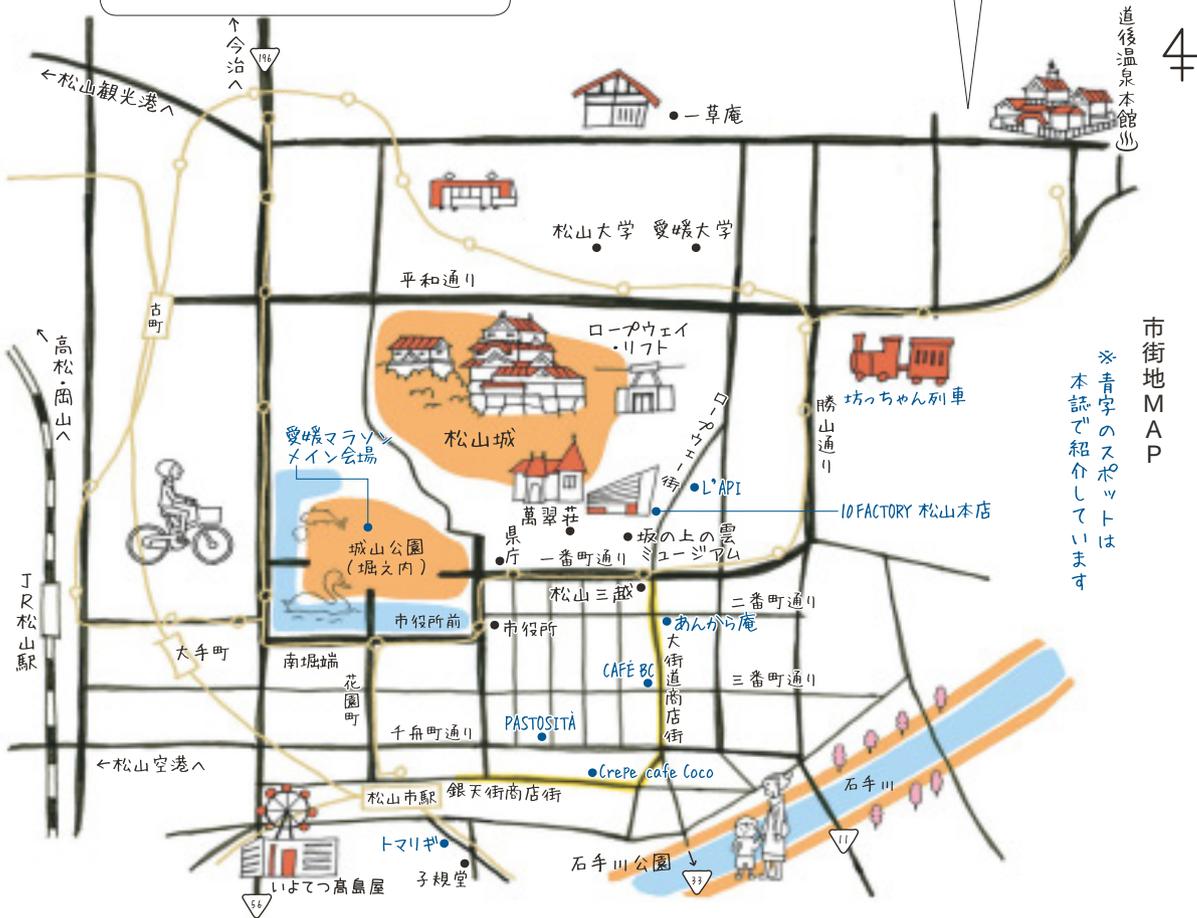
「この街では、お庭に花壇を設けて、綺麗にお花の手入れをしているおうちをよく見かけますし、坊っちゃん列車の車掌さんたちは、満面の笑みで手を振ってくれます。誰かを喜ばせる心があるいろいろな形になって現れています。ここ松山はそんなおもてなしの遭遇率が高い街なんです」
希望が叶った二度目の松山暮らしで、伸び伸びと過ごす子どもたちの姿がうれしいと言う。
「子どもたちを見ていると、ふるさととは生まれ育った土地に限るわけがなく、心に深く残った思い入れの土地にも当てはまるのだと気がきました。松山に出合えて本当に良かった」と話してくれた。



住まいの近くの道後公園は、家族でよく遊びにくる場所

松山MAP

松山市は、中心部に都市機能が集まり、路面電車が活躍する、とっても便利なコンパクトシティ。街の真ん中にはお城がそびえてランドマークになり、市街地から道後温泉までは電車で10分という近さ。旅がしやすく暮らしやすい街です。



※青字のスポットは本誌で紹介しています

東京から90分でひとっ飛び!

アクセス

飛行機	JR	JR + 船	長距離バス
羽田空港～松山空港 約1時間30分 (JAL、ANA)	東京駅～(新幹線 約3時間30分)～岡山駅～(予讃線 約3時間)～松山駅	東京駅～(新幹線 約4時間)～広島駅～(高速船 約70分)～松山観光港	東京駅～松山駅 約12時間20分
成田空港～松山空港 約1時間40分 (ジェットスター<LCC>)			
伊丹空港～松山空港 約50分 (JAL、ANA)			
関西空港～松山空港 約50分 (ピーチ<LCC>)			
(松山空港から市内中心部までリムジンバスでたった20分)			



1
ペア
組2名様

① 松山・道後の旅にご招待

成田～松山往復航空券＋ホテル パティオ・ドウゴ 1泊朝食・道後温泉本館入浴券付宿泊券

ホテルの目の前が道後温泉本館という抜群のロケーション。道後ハイカラ通り（商店街）もすぐそばで、とても便利。1階には松山を代表する老舗の日本料理「すし丸」があり、朝食はこちらで和定食がいただけます。本館入浴券（神の湯階下入浴のみ）をセットで。成田～松山を結ぶジェットスターの航空チケットをセットにした宿泊券で、松山・道後の旅をお楽しみください。

ホテル パティオ・ドウゴ ☎ 089-941-4128
http://www.patio-dogo.co.jp
※航空券および宿泊券の利用は繁忙期は除きます。



『暖暖松山』12号はいかがでしたか。お読みいただいた方の中から、抽選で松山の素敵なプレゼントが当たります。パソコンかスマートフォン、ハガキで、アンケートに答えてご応募ください。当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。応募締切/2017年10月13日(金)。ハガキの場合は、当日消印有効

松山への旅や 特産品など 素敵なプレゼントが 当たります

5
名様



② 程野商店から「松山あげギフトセット」大判、糸切りパック入り

松山では、干油あげのことを「松山あげ」と言います。130年の歴史を誇る程野商店の「松山あげ」は、豆と菜種油を主原料にした自然食品です。常温保存で90日間程度持ち持ちし、油抜きも不要なので、普段使いができて便利。松山空港でも販売、ホームページでも購入できます。程野商店 ☎ 0120-71-3230
http://www.matsuyamaage.co.jp

5
名様



③ 愛媛のみかん専門店「のま果樹園」から「みかんジュース&とろけるゼリー『柑橘の雫』セット」

日本全国に愛媛の柑橘を届ける、のま果樹園。大街道商店街には、直営店「フルーツジュース&ギフト "noma-noma"」があります。店頭では、旬の柑橘の生ジュースやパフェなどが味わえます。店に並ぶ柑橘は1個から購入OK。ホームページでは旬の柑橘を紹介中。フルーツジュース&ギフト "noma-noma" ☎ 089-945-6111 http://www.kajuen.co.jp

5
名様



④ 伊予鉄道から「坊っちゃん列車1号車 チョロQ」

小説『坊っちゃん』にマッチ箱のような汽車として登場した列車。現在にのみかえった列車は、松山市内を走行中。「坊っちゃん列車ミュージアム」(湊町)には、原寸大レプリカなどを展示(入館無料)。「チョコQ」(縦約4cm、横約7cm、幅約3cm)は、いよつオンラインSHOPで購入できます。伊予鉄道 ☎ 089-948-3290
http://www.iyotetsu.co.jp

3
名様



⑤ まつやま農林水産物ブランド認定「紅まだんな」3kg程度

小説『坊っちゃん』に登場するマドンナから名付けられた、愛媛生まれの高級柑橘「紅まだんな」。果肉がゼリーのようになめらかで、甘くてジューシー。一口食べると甘い香りと果汁がおいっぱいに広がります。皮が薄いので、カットフルーツがおすす。 ※12月頃発送予定。まつやま農林水産物ブランド化推進協議会
http://www.matsuyama-brand.com/

ハガキでご応募

ハガキに次の①～⑦を明記して、下記までお送りください。

①ご希望のプレゼント番号(ひとつ) ②本誌を読んだ感想③干住所④お名前⑤年齢⑥性別⑦電話番号

〒102-8515 (住所不要)サンケイリビング新聞社 行政協働事業部「暖暖松山」プレゼント事務局

- ◎受付業務は、サンケイリビング新聞社が代行します。個人情報をお申込者の許諾なく第三者に提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)。
- ◎個人情報は、プレゼント賞品の発送、及びアンケート集計のみに利用し、厳重に管理いたします。
- ◎プレゼント賞品に関するお問い合わせは、すみれリビング新聞社までご連絡ください(TEL089-931-5800)。
- ◎松山市の個人情報保護制度については、松山市のホームページをご覧ください。http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/johokokai/kojinjouhouhogoseido.html
- ◎当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。応募締切/2017年10月13日(金)。ハガキの場合は、当日消印有効

2017年9月発行/企画・発行:松山市 総合政策部 シティプロモーション推進課 TEL089-948-6707

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2 松山市ホームページ https://www.city.matsuyama.ehime.jp/

暖暖松山編集部:サンケイリビング新聞社・すみれリビング新聞社内 撮影:丹生谷千聡・恒岡健太・西谷奈美 アートディレクション:松下亮介・和氣敬憲(以上エス・ビー・シー)

デザイン:松本純(エス・ビー・シー) タイトルデザイン:漆原悠一(tento) 印刷・製本:大日本印刷 配布:サンケイリビング新聞社

この冊子は、環境対応紙とベジタブルインキを使用しております。

※掲載データにつきましては、2017年7月現在のものです。情報の内容は変更される場合がございますのでご了承ください。本誌記事、写真等の無断複写、及び転載を禁じます

パソコン・スマホでご応募

バックナンバーもこちらから



https://www.dandanmatsuyama.com/dandan/

暖暖松山プレゼント

検索

パソコン・スマートフォンでご覧になれます



ミックス
責任ある水産資源を
使用した紙
FSC® C006469